

発災時の大混乱から、はや半年が経とうとしています。

心が少し落ち着いてきたころ、ふと思い起こせば、「帰る家」、「食事」、「お風呂」、「家族との団らん」、「ご近所とのあいさつ」、「通勤」…。震災が起こるまでは、すべてが当たり前と感じ、気にも留めていなかった何気ない日常が、実は、とてもかけがえのないありがたいものであったと私たちは気づかされました。

震災の傷は、人それぞれに違いがあり、それを癒すには、まだまだ多くの時間を必要とするかもしれません。しかし、私たちはこの経験から学んだ多くのことを生かし、心を一つにして助け合いながら、一歩ずつ前に進んでいくことが大切ではないでしょうか。

今、町は復興へと向かい始めています。未来を生きる子どもたちのためにも、知恵と力を出し合い、町民一体となつてよりよい町をつくり上げなければなりません。震災によってなくしてしまった、かけがえのない日常を取り戻し、みんなの力で必ずや復興を成し遂げましょう。すべての人に光り輝く笑顔が戻ってくるように…。

